

星野 裕子副院長

Yuko Hoshino

プロフィール

北里大学卒業後、北里大学病院に入局。その後、淵野辺総合病院、都立墨東病院周産期センター医長、東京リバーサイド病院周産期部長を経て2019年より現職。日本産婦人科学会産婦人科専門医、日本周産期新生児医学会周産期専門医。



性暴力やDV、子どもの心の問題にも対応

江戸川区界隈の女性と子どもたちの心身の健康を見守っている「医療法人社団向日葵会 まつしま病院」。院内には随所にオレンジ色のフロア案内サインがあり、定礎板に刻まれた「太陽のような明るく光り輝く健康がふりそそぎますよう」という思いが強く感じられる。「多くの方に自分らしい、良いお産だったと思っていただきたいですね」と話すのは産婦人科の星野裕子副院長。同院でのお産は、自然分娩が基本だったそうだが、最近では時代のニーズに即して無痛分娩なども行っているという。無事、生まれてきた赤ちゃんは、引き続き同院の小児科でケア。新生児健診やワクチン接種の時など、折にふれてお母さんの心身の様子もしっかりチェックしている。同院の特徴や診療の際に大切にしていることなどについて話を聞いた。（取材日2020年2月28日）

こちらの病院の成り立ちと診療体制について教えてください。

当院は、先代院長の佐々木静子先生が1991年に開設した「まつしま産婦人科小児科病院」からスタートしています。当時、佐々木前院長は女性の立場に配慮した医療、女性の権利と健康を守る医療によって女性やその子どもをサポートしたいとの思いから、産婦人科と小児科を主にした病院を開設しました。2006年にリニューアルオープンし、現在に至ります。現在、診療内容は、産婦人科、小児科、心療内科に加えて、週に1回乳腺外科の外来を行っています。院長の山脇先生のもと、副院長には私と小児科から益原千加先生の2名体制で、妊娠前から周産期、新生児期、小児期まで継続的に一つの病院で診られる点が一つの利点でもあり特徴です。また、前院長時代から続く性被害への取り組みも当院の特徴です。さらに特定妊婦と呼ばれる、家庭環境や精神的、経済的な面などさまざまな理由から育児に困難がある人へのサポートも行っています。



産婦人科診療の特徴はどんなことがあげられますか。

地域に根差した一次病院として妊婦さんに寄り添った周産期医療を提供しています。お産は助産師がメインで、自然分娩が基本です。自分で体を作っていく、自分の力で産む、というのが開設以来の考え方だと伺っています。ただ、最近では、高齢出産も多く、医療的な介入が必要な場合も増えています。安全であることを第一に考え、場合によっては誘発分娩を行ったり、患者さんの要望に即して無痛分娩も取り入れています。先ほども少しお話ししましたが、当院では、性暴力を受けた人への医療対応や、DV、児童虐待などにも取り組んでいます。DV被害の方にはご本人の安全を重視しつつ介入したり、児童虐待を未然に防いだりすることに心を入れています。育児が難しそうなお方については助産師から声が上がることが多く、助産師が主体となって外来を立ち上げて相談にのっています。場合によっては保健師につなげて、地域でサポートするようにしています。



小児科診療の特徴はどんなことでしょう。

1人目、2人目と続けてここで出産する方が多いですので、患者さんとはとても長いお付き合いになっています。育児で悩む方も多く、一方でインターネット情報や誤った情報を信じているケースもありますので、正しい情報の提供によってサポートしています。ワクチン接種は予防医学の観点から定期的に来ていただくようにしています。病院に足を運んでいただくことで、お子さんの発達やお母さんの心身の状態など気づきを得られますので、できるだけ定期的に来ていただきたいですね。小児のアレルギー疾患にも対応しており、花粉症などの舌下免疫療法も行っています。また、子どもの発達や心の問題、就学に向けての相談なども行っています。多動性障害や学習障害などの症状や程度を確認し、必要であれば専門的な診療を行える医療機関に紹介したり、そのお子さんの特性や育児方法に関するアドバイスなども行っています。



診療の際、心がけていることをお聞かせください。

産婦人科では、お子さんをかわいいと思っていただける、出産を楽しみにしてもらえるような診療を心がけています。その方にとって「良いお産だった」「これが自分のお産なんだ」と思っていただきたいです。たとえ帝王切開でも、ネガティブに考えるのではなく、ポジティブに捉えてほしいと思っています。助産師の指導も前期、後期と行っていて、外来診療でも助産師と一緒に診ることも多く、診察の間などでもきめ細かくお話しし不安のないお産につなげられるようにしています。また、小児科では、親御さんが何か困っていないか、お母さんが疲れていないか、親子の様子など、診療、病気のことだけでなく、受付も含めたスタッフや看護師など全員で心配りをしサポートしています。必要があれば、カウンセラーや心療内科につなげる場合もあります。



今後の課題や展望、読者へのメッセージをお願いいたします。

この地域に限らず遠方の方でもここで出産したいと思っていただける病院でありたいですね。当院は、これまでナチュラルバースが基本でしたが、最近は出産方法も変わってきています。安心安全を基本に据え、体調やご要望に即したお産にも対応しています。一部男性医師が診療に入りますが、スタッフはほぼ全員女性で子育て中の人もいますので、不安なことがあれば気軽に相談してください。また、今後は思春期の心の問題が一つの課題だと考えています。最近は小学校高学年くらいから特に理由もなく不登校になるお子さんもいて、どのように道筋をつけるのがよいのか、とても難しいですね。毎日、小児科は診療していますし、生まれた赤ちゃんの診察も、毎日小児科医が行っています。授乳についての相談も同じ病院ででき、その点が産婦人科と小児科の両方を診療している利点だと思います。お子さんの体や心のことで心配のある方はどうぞご相談ください。



病院・総合病院・大学病院を探すならホスピタルズ・ファイル